

初版作成日 : 2022/01/18

改訂日 : 2023/02/21

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :

製品名称 : アスファルトクリーン 18L/CN

製品番号 (SDS NO) : 3749-2

推奨用途及び使用上の制限

使用上の制限 : アスファルトフィニッシャー等に付着したアスファルトの洗浄・除去【業務用】

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : 横浜油脂工業株式会社

住所 : 横浜市西区南浅間町1-1

担当部署 : 技術開発部

担当者(作成者) : 平沢 肇

電話番号 : 045-311-4701

FAX : 0463-89-1330

緊急連絡先電話 : 045-311-4704

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分 3

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性 : 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分 2(肝臓、精巣)

誤えん有害性 : 区分 1

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性) : 区分 1

水生環境有害性 長期(慢性) : 区分 1

(注) 記載なきGHS分類区分 : 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

H226 引火性液体及び蒸気

H315 皮膚刺激

H318 重篤な眼の損傷

H335 呼吸器への刺激のおそれ

H336 眠気又はめまいのおそれ

H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

H400 水生生物に非常に強い毒性

H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

- P273 環境への放出を避けること。
- P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- P233 容器を密閉しておくこと。
- P240 容器を接地しアースをとること。
- P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
- P242 火花を発生させない工具を使用すること。
- P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
- P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- P264 取扱い後は接触部位をよく洗うこと。
- P280 保護手袋を着用すること。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- P280 保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

- P370 + P378 火災の場合: 指定された消火剤を使用すること。
- P391 漏出物を回収すること。
- P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- P310 直ちに医師に連絡すること。
- P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- P304 + P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P302 + P352 皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
- P303 + P361 + P353 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
- P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- P305 + P351 + P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P331 無理に吐かせないこと。
- P301 + P310 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。

貯蔵

- P403 換気の良い場所で保管すること。P233 容器を密閉しておくこと。P235 涼しいところに置くこと。
- P405 施錠して保管すること。

廃棄

- P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び化学的危険性

- 燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	化管法(令和5年4月1日施行) 管理番号
石油系溶剤	80 - 90	非公開	非公開	-
トリメチルベンゼン(石油系溶剤に含有)	(62)	25551-13-7	3-7; 3-3427	管理番号691
クメン(石油系溶剤に含有)	(4.4)	98-82-8	3-22	管理番号83
ナフタレン(石油系溶剤に含有)	(< 1)	91-20-3	4-311	-
キシレン(石油系溶剤に含有)	(4.4)	1330-20-7	3-3; 3-60	管理番号80
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	11	非公開	非公開	-
イソプロピルアルコール(界面活性剤に含有)	< 1	67-63-0	2-207	-
n-デシルアルコール(界面活性剤に含有)	< 1	112-30-1	2-217	-

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

石油ナフサ, トリメチルベンゼン, クメン, キシレン

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

石油ナフサ, トリメチルベンゼン, クメン, ナフタレン, キシレン, イソプロピルアルコール

化管法(令和5年4月1日施行)「第1種指定化学物質」該当成分

トリメチルベンゼン, クメン, キシレン

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

直ちに医師に連絡すること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分の戻らない時は、医師の診察/手当てを受けること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

皮膚に付着した場合: 多量の水/石鹸で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

飲み込んだ場合は医師の診察/手当てを受けること。

子供などが飲み込んだ懸念がある場合、直ちに医師の診察/手当てを受けること。

揮発性液体なので、吐き出せるとかえって肺への吸引等の危険が増す。

医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

水を消火に用いてはならない。

冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。

特有の危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素等の他、窒素酸化物系のガス等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

消火作業は、可能な限り風上から行なう。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

周囲の設備などの輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。

消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する

作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

こぼれた場所はすべりやすいために注意する。

作業の際には保護具(必要に応じてガスマスク)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。

引火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

多量の場合、人を安全に待避させる。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

河川等に流出した場合は、管轄機関に連絡をする。

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。

付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。

少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取り、密閉できる空容器に回収する。

大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

漏出時は事故の未然防止および拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する

火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

(注意事項)

製品記載の使用上の注意を良く読み、用途以外に使用しないこと。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

火花を発生しない工具を使用すること。

防爆型の電気機器(換気装置、照明機器等)を使用すること。

火気を使用している室内で使用しないこと

取扱いは、屋外または換気のよい場所で行う。

取り扱い中は、飲食、喫煙を行ってはならない。

取扱いの都度、容器を密閉する。

取り扱い後はよく手を洗うこと。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避

強酸化剤

衛生対策

取扱い後は接触部位をよく洗うこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

製品記載の保管条件を読み、適切に保管すること。

日光から遮断し、40℃を超える温度に暴露しないこと。

容器を密栓すること。

涼しい所、換気の良い場所で保管すること。

湿気の多い所、水周りなど容器が腐食しやすい場所におかないこと

熱/火花/裸火/高温のもののような着火原から遠ざけること。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度

(ナフタレン)

作業環境評価基準(2015) <= 10ppm

(キシレン)

作業環境評価基準(2004) <= 50ppm

(イソプロピルアルコール)

作業環境評価基準(2004) <= 200ppm

許容濃度

(クメン)

日本産衛学会(2019) 10ppm;50mg/m³ (皮)

(キシレン)

日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m³

(イソプロピルアルコール)

日本産衛学会(1987) (最大許容濃度) 400ppm; 980mg/m³

(トリメチルベンゼン)

ACGIH(2021) TWA: 10ppm (中枢神経系障害, 血液学的影響)

(クメン)

ACGIH(2020) TWA: 5ppm (上気道腺腫; 神経学的影響)

(ナフタレン)

ACGIH(2014) TWA: 10ppm

(上気道刺激; 白内障; 溶血性貧血)

(キシレン)

ACGIH(2021) TWA: 20ppm (眼及び上気道刺激; 血液学的影響; 聴覚毒性; 中枢神経系障害)

(イソプロピルアルコール)

ACGIH(2001) TWA: 200ppm;

STEL: 400ppm (眼及び上気道刺激; 中枢神経系障害)

特記事項

(ナフタレン)

皮膚吸収

(キシレン)

聴力障害

ばく露防止

設備対策

蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸用保護具

保護マスクを着用する。必要に応じて防塵マスク、防毒マスク、有機溶剤用の防毒マスク等を着用する。

手の保護具

保護手袋、必要に応じて耐溶剤性手袋、ビニール手袋等を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡(普通眼鏡型)、必要に応じて、ゴーグル型、保護面等を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣、保護前掛け等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 : 液体

色 : 無色～淡黄色透明

臭い : 原料臭

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点 : データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 :

爆発下限 : 0.5vol %

爆発上限 : 6.5vol % (代表値)

引火点 : 38℃以上

自然発火点 : 470℃

分解温度データなし
 pH：なし
 動粘性率：データなし
 溶解度：
 水に対する溶解度：乳化する。
 溶媒に対する溶解度データなし
 n-オクタノール/水分配係数データなし
 蒸気圧データなし
 蒸気密度：4.2
 密度及び/又は相対密度：0.88
 相対ガス密度(空気=1)データなし
 粒子特性データなし
 その他のデータ
 蒸発速度データなし

10. 安定性及び反応性

反応性
 反応性データなし
 化学的安定性
 通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
 危険有害反応可能性
 強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発をもたらす。
 避けるべき条件
 加熱・熱源・裸火
 強酸化剤との接触を避ける。
 高温へのばく露
 混触危険物質
 強酸化剤(引火性物質のため、強酸化剤との接触を防ぐこと。)
 危険有害な分解生成物
 危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報
 急性毒性
 急性毒性(経口)
 [成分データ]
 [日本公表根拠データ]
 (クメン)
 rat LD50=2700mg/kg (ACGIH, 2001)
 (ナフタレン)
 rat LD50=490-1800mg/kg (PATTY 5th, 2001)
 (キシレン)
 rat LD50=3500 - 8800mg/kg (NITE有害性評価書, 2008)
 (イソプロピルアルコール)
 rat LD50=5480mg/kg (EHC 103, 1990)
 (n-デシルアルコール)
 rat LD50>2000 mg/kg, =5000 mg/kg (EPA Pesticide, 2007)
 急性毒性(経皮)
 [成分データ]
 [日本公表根拠データ]
 (クメン)
 rabbit LD50 >3160mg/kg (AICIS IMAP, 2016)

(キシレン)

rabbit LD50=1700mg/kg (EPA Pesticide, 2005)

(イソプロピルアルコール)

rabbit LD50=12870mg/kg (EHC 103, 1990)

(n-デシルアルコール)

rat LD50>2000 mg/kg, >4000 mg/kg, =5000mg/kg (EPA Pesticide, 2007)

急性毒性(吸入)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(クメン)

vapor: mouse LC50=2000ppm/7hr (換算値: 2645ppm/4hr) (産衛学会 許容濃度暫定値の提案理由書, 2019)

mist: rat LC50=39.3mg/L/4hr (産衛学会 許容濃度暫定値の提案理由書, 2019)

(キシレン)

vapor: rat LC50=6350-6700ppm/4hr (NITE有害性評価書, 2008)

(n-デシルアルコール)

mist: rat LC50>3.35, 5.07, 7.08mg/L/4hr (EPA Pesticide, 2007)

労働基準法: 疾病化学物質

キシレン

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 2, 皮膚刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(トリメチルベンゼン)

動物 一次刺激性 (ACGIH 7th, 2001)

(キシレン)

ラビット 紅斑、浮腫、壊死 (NITE有害性評価書, 2008)

(n-デシルアルコール)

ラビット 紅斑スコア 1.9, 浮腫スコア 0, 10日間で回復 (SIDS Dossier, 2006)

[会社固有データ]

(石油系溶剤)

ウサギ、皮膚4時間適用で中程度の刺激性及び軽度の浮腫

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 1, 重篤な眼の損傷

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(トリメチルベンゼン)

眼刺激性 (HSDB, 2014)

(クメン)

軽度の刺激性(厚労省 リスク評価書, 2015)

(ナフタレン)

ラビット 7日以内に回復 (ATSDR, 2003)

(キシレン)

ラビット 軽度から中等度の刺激性 (NITE有害性評価書, 2008)

(イソプロピルアルコール)

ラビット (PATY 6th, 2012 et al)

(n-デシルアルコール)

ラビット 刺激性 (Patty 12th, 2012 et al)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ナフタレン)

cat. 1; human : DFGOT vol.11, 1998

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(クメン)

cat.1B; (CLH Report, 2019 et al.)

(ナフタレン)

cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 82, 2002)

[IARC]

(クメン)

Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(ナフタレン)

Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(キシレン)

Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない

(イソプロピルアルコール)

Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない

[ACGIH]

(クメン)

A3(2020) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(ナフタレン)

A3(2014) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(キシレン)

A4(2021) : ヒト発がん性因子として分類できない

(イソプロピルアルコール)

A4(2001) : ヒト発がん性因子として分類できない

[日本産衛学会]

(クメン)

第2群B:ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質

(ナフタレン)

第2群B:ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質

[EU]

(石油系溶剤)

Category 1B; ヒトに対しておそらく発がん性がある物質

(ナフタレン)

Category 2; ヒトに対する発がん性が疑われる物質

生殖毒性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(キシレン)

cat. 1B; ATSDR, 2007

(イソプロピルアルコール)

cat. 2; PATTY 6th, 2012

催奇形性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 3, 呼吸器への刺激のおそれ

区分 3, 眠気又はめまいのおそれ

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(クメン)

神経系 (厚労省 リスク評価書, 2015)

(キシレン)

肝臓、中枢神経系、呼吸器、腎臓 (NITE有害性評価書, 2008)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(トリメチルベンゼン)

気道刺激性 (HSDB, 2014)

(クメン)

気道刺激性 (厚労省 リスク評価書, 2015)

(イソプロピルアルコール)

気道刺激性 (環境省リスク評価第6巻, 2005)

(n-デシルアルコール)

気道刺激性 (環境省リスク評価第6巻 暫定的有害性評価シート, 2008)

[会社固有データ]

(石油系溶剤)

気道刺激性

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(トリメチルベンゼン)

麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001)

(クメン)

麻酔作用 (厚労省 リスク評価書, 2015)

(キシレン)

麻酔作用 (NITE有害性評価書, 2008)

[会社固有データ]

(石油系溶剤)

麻酔作用

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(トリメチルベンゼン)

中枢神経系、呼吸器 (環境省リスク評価第11巻, 2013)

(キシレン)

神経系、呼吸器 (NITE有害性評価書, 2008)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

(クメン)

呼吸器 (産衛学会許容濃度暫定値の提案理由書, 2019)

[会社固有データ]

(石油系溶剤)

肝臓、精巣

誤えん有害性

[製品]

区分 1, 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(トリメチルベンゼン)

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity < 8.9 mm²/s (1,3,5-trimethylbenzene)

(クメン)

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity=0.73 x 10⁻⁶ mm²/s (40°C) (EU RAR, 2001)

(キシレン)

cat. 1; kinematic viscosity=0.86(o-), 0.67(m-), 0.70(p-) mm²/s (25°C) (HSDB, 2014)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 1, 水生生物に非常に強い毒性

区分 1, 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(トリメチルベンゼン)

甲殻類 (グラスシュリンプ) LC50=5.4mg/L/96hr (Aquire, 2003)

(クメン)

甲殻類 (ミシッドシュリンプ) LC50=1.2mg/L/96hr (CICAD18, 1999)

(ナフタレン)

魚類 (ニジマス) LC50=0.77mg/L/96hr (EHC 202, 1998)

(キシレン)

魚類 (ニジマス) LC50=3.3mg/L/96hr (NITE 初期リスク評価書, 2005)

(イソプロピルアルコール)

魚類 (メダカ) LC50 >100mg/L/96hr (環境庁生態影響試験, 1997)

(n-デシルアルコール)

藻類 (ムレミカツキモ) EC50=0.56mg/L/72hr (環境省生態影響試験, 2018)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(イソプロピルアルコール)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC >100mg/L/21days (環境庁生態影響試験, 1997)

(n-デシルアルコール)

藻類 (ムレミカツキモ) NOEC=0.028mg/L/72hr (環境省生態影響試験, 2018)

水溶解度

(トリメチルベンゼン)

非常に溶けにくい (ICSC, 2002)

(クメン)

非常に溶けにくい (0.02 g/100ml, 20°C) (ICSC, 2014)

(ナフタレン)

溶けない (ICSC, 2005)

(イソプロピルアルコール)

In water, infinitely soluble (25°C) (HSDB, 2013)

(n-デシルアルコール)

0.37 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2005)

残留性・分解性(BOD・COD)

[成分データ]

(トリメチルベンゼン)

1,3,5-トリメチルベンゼン_BODによる分解度:0% (既存点検)

(クメン)

急速分解性なし (84/449/EECによる分解度13% (EU-RAR, 2001))

(ナフタレン)

BODによる分解度:2% (既存点検)

(キシレン)

急速分解性なし (BODによる分解度:39% (NITE 初期リスク評価書, 2005))

(イソプロピルアルコール)

急速分解性あり (BODによる分解度:86% (既存点検, 1993))

(n-デシルアルコール)

急速分解性あり (化審法DB, 2012)

生体蓄積性

[成分データ]

(トリメチルベンゼン)

log Pow=3.4 through 3.8 (ICSC, 2002); BCF=328 (1,3,5-トリメチルベンゼン: 既存化学物質安全性点検データ)

(クメン)

log Pow=3.66 (PHYSPROP DB, 2005)

(ナフタレン)

log Pow=3.3 (ICSC, 2005); BCF=168(Check & Review, Japan)

(キシレン)

log Pow=3.16 (PHYSPROP DB, 2005)

(イソプロピルアルコール)

log Pow=0.05 (ICSC, 1999)

(n-デシルアルコール)

log Kow = 4.57 (PHYSPROP DB, 2008)

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 1993

正式輸送名 :

(非極性/水不溶) その他の引火性液体、N.O.S.

分類または区分 : 3

容器等級 : III

指針番号: 128

特別規定番号 : 223; 274

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号 : 1993

正式輸送名 :

(非極性/水不溶) その他の引火性液体、N.O.S.

分類または区分 : 3

容器等級 : III

特別規定番号 : 223; 274; 955

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 該当

特別の安全対策

- 容器の破損、漏れがないことをたしかめる。
- 荷くずれ防止を確実に行う。
- 該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
- 直射日光を避ける。
- 水漏れ厳禁。
- 横積み厳禁。
- 夏場の輸送時には、熱い鉄板、地面等の上に直接置かないこと。
- 輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取扱う。転倒したり、激突させたりしない。

MARPOL条約附属書V－HME(海洋環境に有害)

- 発がん性: 区分1, 1A, 1B 該当物質
- クメン
- 生殖毒性: 区分1, 1A, 1B 該当物質
- キシレン
- 特定標的臓器毒性, 反復ばく露: 区分1 該当物質
- トリメチルベンゼン; キシレン
- 水生環境有害性: 長期(慢性) 区分1, 2 該当物質
- トリメチルベンゼン; クメン; キシレン

国内規制がある場合の規制情報

- 船舶安全法
 - 引火性液体類 分類3
- 航空法
 - 引火性液体 分類3

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

- 特化則に該当しない製品
- 有機則 第3種有機溶剤等
- 石油系溶剤

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

- 石油ナフサ (別表第9の330); トリメチルベンゼン(別表第9の404); クメン(別表第9の138);
- キシレン(別表第9の136)

名称通知危険/有害物

- 石油ナフサ (別表第9の330); トリメチルベンゼン(別表第9の404);
- クメン(別表第9の138); ナフタレン(別表第9の408); キシレン(別表第9の136);
- プロピルアルコール(イソプロピルアルコール)(別表第9の494)

別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・引火性の物 (30℃ ≤ 引火点 < 65℃)

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年4月1日施行)

第1種指定化学物質

- ・トリメチルベンゼン(62%)[トリメチルベンゼン(62%)(管理番号691)];
- ・キシレン(4.4%)[キシレン(4.4%)(管理番号80)];
- ・クメン(4.4%)[クメン(4.4%)(管理番号83)]

消防法

危険物

第4類 引火性液体第2石油類 危険等級 III(指定数量 1,000L)

化審法

優先評価化学物質

トリメチルベンゼン(政令番号49 人健康影響/生態影響); ナフタレン(政令番号76 人健康影響/生態影響);

イソプロピルアルコール(政令番号102 人健康影響); キシレン(政令番号125 人健康影響);
クメン(政令番号126 人健康影響); n-デシルアルコール(政令番号170 生態影響);
トリメチルベンゼン(政令番号201 人健康影響)

悪臭防止法

キシレン

政令番号18:敷地境界線許容限度 1 - 5 ppm

大気汚染防止法

有害大気汚染物質

ナフタレン(中環審第9次答申の144)

キシレン(中環審第9次答申の43)

水質汚濁防止法

指定物質

キシレン

法令番号 28

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN
IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2021 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
Supplier's data/information

責任の限定について

※注意 安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和3年度(2021年度))です。